

ERIC SANDERS *Annamotion*

「アナモーション」



Artist Statement

This work in this show represents my most ambitious series to date, in both scale and technique. While working on this series I have both developed and refined a wide variety of artistic techniques. The works employ lithography transfer and silkscreen, overlaid with bold gestural abstraction. A female form is present in each work, presented variously in bold silhouette and sensitive renditions in charcoal and paint stick.

As well as being the most technically ambitious, this body of work is also my most personal. The figure repeated on each canvas is my wife Anna; executing martial arts moves, walking through a series of canvases, looking down on the viewer from the top of a staircase. In these paintings I engage with, and work against, the traditional artist/muse relationship. Anna is presented as a self-assured and empowered figure. A nude female figure seen in motion; without a trace of passivity.

For this series I have limited myself to a monochromatic palette, referencing the history of photography. I make direct reference to certain works of Gerhard Richter and Eadweard Muybridge throughout the series. The series of small print-based work references Muybridge's pioneering motion studies. I created my own version of Richter's *Woman Descending the Staircase*, finding its abstraction through a layering of images rather than Richter's characteristic blur. I found further inspiration in the gestural mark-making present in Jenny Saville and Cy Twombly's large paintings. It has rewarding to see my influences synthesize through this series.

アーティスト ステートメント

このショーの作品は、スケールとテクニックの両方において、これまでで最も野心的なシリーズです。このシリーズに取り組んでいる間、私は多種多様な芸術的技法を発展させ、洗練させてきました。作品はリトグラフの転写とシルクスクリーンを採用し、大胆なジェスチャーの抽象化が重ねられています。それぞれの作品に女性の姿が存在し、木炭とペイントスティックを使用して大胆なシルエットや繊細な表現でさまざまに表現されています。

この一連の作品は、技術的に最も野心的であるだけでなく、私にとって最も個人的なものでもあります。各キャンバスに描かれている人物は妻のアンナです。武道の動きを実行したり、一連のキャンバスを歩いたり、階段の上から視聴者を見下ろしたりしています。これらの絵画では、私は従来の芸術家とミューズとの関係に関与し、反抗しています。アンナは、自信に満ちた力強い人物として描かれています。動いている裸の女性像。受動性の痕跡は一切なし。

このシリーズでは、写真の歴史を参照して、モノクロのパレットに限定しています。シリーズ全体を通して、ゲルハルト・リヒターとエドワード・マイブリッジの特定の作品を直接参照しています。小さな活字をベースにした一連の作品は、マイブリッジの先駆的なモーションスタディを参考にしています。リヒターの特徴的なぼやけではなく、イメージを重ねることで抽象化を見つけて、階段を降りるリヒターの女性の独自のバージョンを作成しました。ジェニー・サヴィルとサイ・トゥオンブリーの大きな絵に見られるジェスチャーマーク作成から、さらにインスピレーションを得ました。私が受けている影響をこのシリーズを通して統合されるのを見るのは、圧倒的にやりがいがありました。



エリック・サンダースとアクティブ・シンボル

人間の形は、ある程度の象徴的なものを届けるのに失敗することのないほどの哀れみを持っています。 エリック サンダースの絵画とエッチングで、私たちは芸術の世界をのぞき込み、彼が芸術的親和性の輪を再発明するにつれて歯車が動いているのを見て、私たちの時代に新たな共鳴をもたらす正式な経験を生み出しています。過去の偉大な比喩的な作品に宿るシンボルは、どの時代や動きが最初にそれらを生み出したかに関係なく、現在のアーティストによる再考の中で新しい命を見つける反射的な内容を含んでいます。アーティストが持つことができる最も生産的なアジェンダの 1 つは、元型を調査し、美的潜在意識に掘り下げて、アートが私たち人間に影響を与える本質的な経験の優位性を再確立することです。過去のイメージと方法の間に創造的な連続体を確立することによって、それぞれの長所と、そのような作品との繰り返しで直面された事から受ける広範な印象について高く評価されています。

サンダースは、複数の正式な分野の熟達を補完する歴史的類似性を推測する、創造的なビジョンの広い広がりを示しています。この展覧会の見通しは、特定の形式的な目的がオーダーメイドのように見える変数の新しい範囲への彼の制作を開きます。特に、著しい形に対する識別可能な適性を共有する非常に異なる知性のエドワード・マイブリッジやゲルハルト・リヒターなどの芸術家の明確な遺産にサンダースが対応できる2つの方法です。、著しいサンダースは、彼らの成果を、現代の視聴者にとって新鮮な新しい体験に変換しています。

サンダースの「Nude Descending Staircase」シリーズでは、同じイメージを 3 つの異なる方法で解釈されてい

ます。最初の画像では、彼の妻であり中心的なミュージーズであるアンナが、衣服を一切付けずにゆっくりと階段を降りています。絵の具によって捉えられたこのイメージは、美しくも神秘的でもあります。この裏にはどういう物語があるかは明確になっていません。シリーズのバージョン 2 と 3 では、アンナは別の技術プロセスによって変身し、彼女の描写の感情的な空間を根本的に優美で象徴的に超越的なものとして大化け、天使から悪魔に変わります。彼女は、おそらく毎日の儀式の一環として、またはサプライズのために、目を眠らせたまま彼に挨拶するために恥ずかしそうに歩いている最愛の人物として始まります。しかし、その後の各バージョンでは、最初は投げられた塗料の層によって彼女の視点が覆い隠され、続いて彼女の顔の周りの領域が暗くなるため、愛情が怒りのように見えます。サンダースは、特定の瞬間に可能な感情の伝達のすべての層を示していると同時に、姿と直面した瞬間にどう変身させられるかを研究したりヒター、デュシャン、ボッチョーニによる他の歴史的なバージョンと通信しています。

サンダースの 2 部構成の記念碑的な作品「Star Walkin」は、芸術家の妻をミュージーズとして祝うだけでなく、動きの詩や人間のすべての描写の根底にある普遍的な条件について語るために、落ち着きと優雅さが適切に展示されている人物としての大規模なイメージに依存しています。アーティストは彼のミュージーズから何を受け取りますか？サンダースは、アンナを力強く冷静に描写することで、彼の高い評価の証拠を私たちに与えてくれます。普遍性を意味する同じ特性は、特異な次元も表しています。しかし、彼女の姿は空虚な無力者ではなく、自己所有に満ちた人です。そこに親密さが加わると、シンボルと

して活性化する幽玄な形式的な性質をただ目撃することは不可能になります。それぞれのバージョンで支配的な形式的要素は、スタイル的よりもという、特定の美的結果を規定する比喩、構造的および要素的な違いに近いものです。ある部分では、アンナが歩く、というか彼女の多くの自己が長い列をなして歩き、美的に満たされた空間と物語の時間を同時に刻みます。彼女の比喩的な特異性には儂さがあり、彼女を取り囲む白い空間は彼女の顔や体の細部を拡大し、ありふれたものとの違いを強調しています。彼女はアンナですが、イブでもあり、リリスでもあり、アリエルでもあります。彼女は空間に住み、特異な存在の永続性によって空間を定義するすべての女性です。

「Star Walkin」の第 2 部では、Anna が再び登場しますが、この場合、彼女の永遠の足取りは、緑色のはねたペイントの長いジェスチャーによって中断されます。この 1 つの要素が本質的な物語を変えます。それを自然主義的な出来事としてではなく、テーマの中断とダイナミックな対立と考えてください。カラフルなジェスチャーが意味することは、それが何をするかよりも重要です。

サンダースによる別のシリーズは、親密さを誘発するスケールと組み合わせた特定の技術的制約の使用によって支援および構築された一貫したテーマによって彩られています。「リトグラフ トランスファー」シリーズは、より良い名前を付がけたいがために、アンナを、まるで遠くから、あるいはスクリーン越しに、より小さく、より明確ではない存在として描写し、強烈な身体的印象と同時に、見る者から疎外された印象を与えます。彼女の姿は、ダゲレオタイプと呼ばれるガラス板を使用した初期の写真形式のように、不調和な光源の横を通過するときに透明な表

面に投影された影のように、第2の反射に似たものになります。映し出される姿は、他の場合と同様に裸であるが、表情やポーズがシルエットに縮小されている間、身体の特徴の詳細のために、彼女の仕草は非常にエロチックに見える。「All Comes Crashing」では彼女が - 腰をかかめ、あたかも笑い声か苦痛のように長く濃い髪をなびかせており、「Bang!」では 沈黙し、静かに、深く物思いに沈んでいる。それぞれの画像で実際に起こっていることは、視聴者側の推測にすぎませんが、持続的なエロティシズムの暗示は記憶に残ります。

このダイナミックで多様なシリーズ群は、エリック サンダースによって編成された鑑賞者がアーティストのミュージーズとの関係に入り込む瞬間を表現しています。ミュージーズは彼にとって非常に重要な特定の人物を介して含まれ、投影されているように見えるかもしれませんが、実際には 具体化された要素—キャンバスとしてのミュージーズ、または方法としてのミュージーズなのです。サンダースが向き合うアクティブシンボルは、女性と人間のあらゆる次元となる妻のアンナの姿に宿る、画期的に派生した元型であり、絵画や彫刻のダイナミックさを演出し、その存在感を拡大し、その存在感を深めます。 エリック・サンダースは作者ですが、協力者でもあります。または、有名な因習打破の作家がかつて主張したように、彼はアンテナであり、より完全な意味を受け取り、共有された未来に伝えます。—デビッド・ギブソン





Bang!
2023, Acrylic and Lithograph Transfer on Canvas, 19" x 16"

バン!
2023年、キャンバスにアクリル、リトグラフ転写、19" x 16"



1000万ドルの赤ちゃん
2023年、キャンバスにアクリル、リトグラフ転写、19" x 16"

10 Million Dollar Baby
2023, Acrylic and Lithograph Transfer on Canvas, 19" x 16"



10 | *Nude Descending Staircase No. 2*
2023, Acrylic on Canvas Stretched Panel, 60" x 40"

階段を降るニュード2号
2023年、キャンバーストレッチパネルにアクリル、60" x 40"



階段を降るニュード3号
2023年、キャンバーストレッチパネルにアクリル、60" x 40"

Nude Descending Staircase No. 3
2023, Acrylic on Canvas Stretched Panel, 60" x 40"



ブルズ・オン・パレード
2023年、キャンバスにアクリル、木炭、72" × 48"

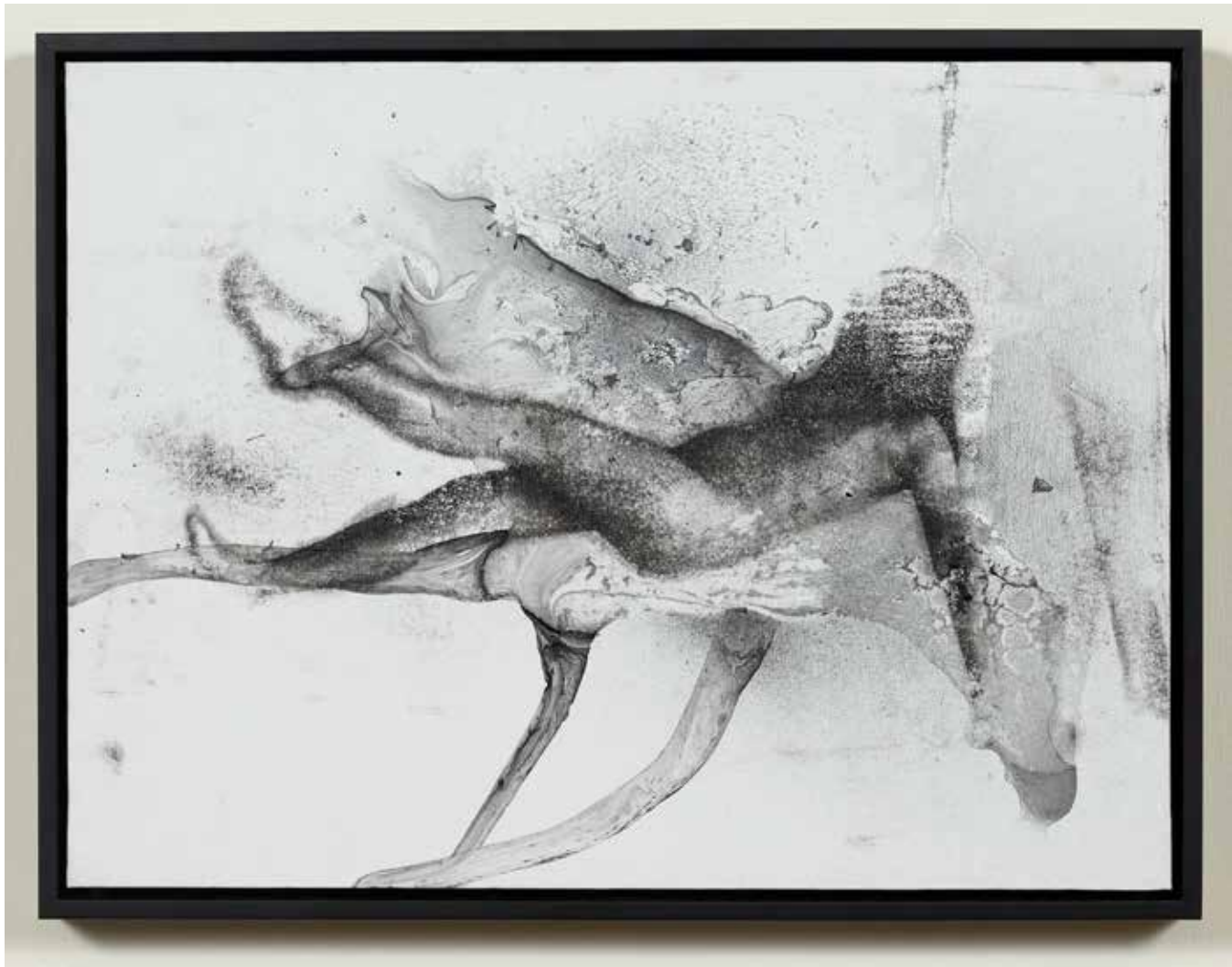
Bulls on Parade
2023, Acrylic and Charcoal on Canvas, 72" × 48"







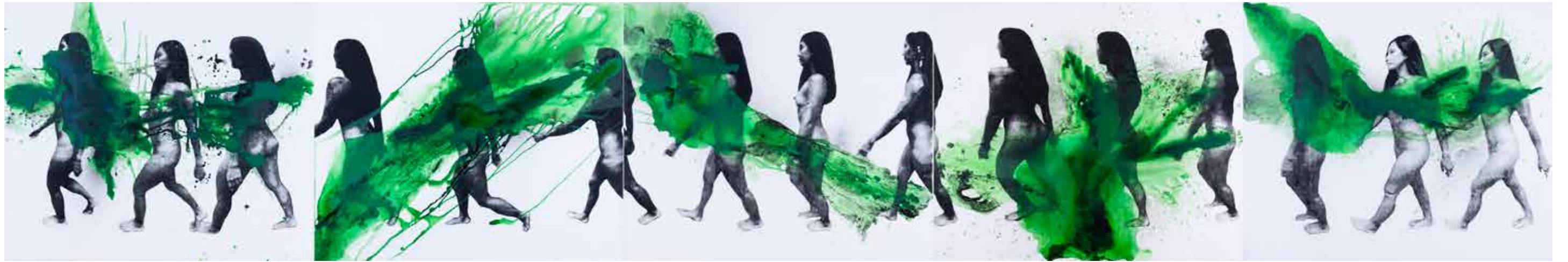










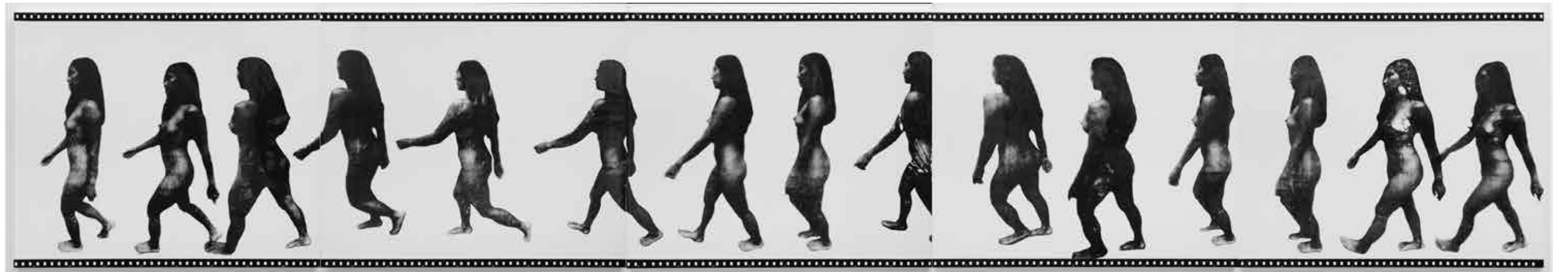


Star Walkin' (1-5, Combined)

2023, Acrylic on Canvas, each panel 60" x 72", total size 60" x 360"

スター・ウォーキン (1-5、複合)

2023年、キャンバスにアクリル、各パネル60インチ×72インチ、合計サイズ60インチ×360インチ。



Star Walkin' (6-10, Combined)

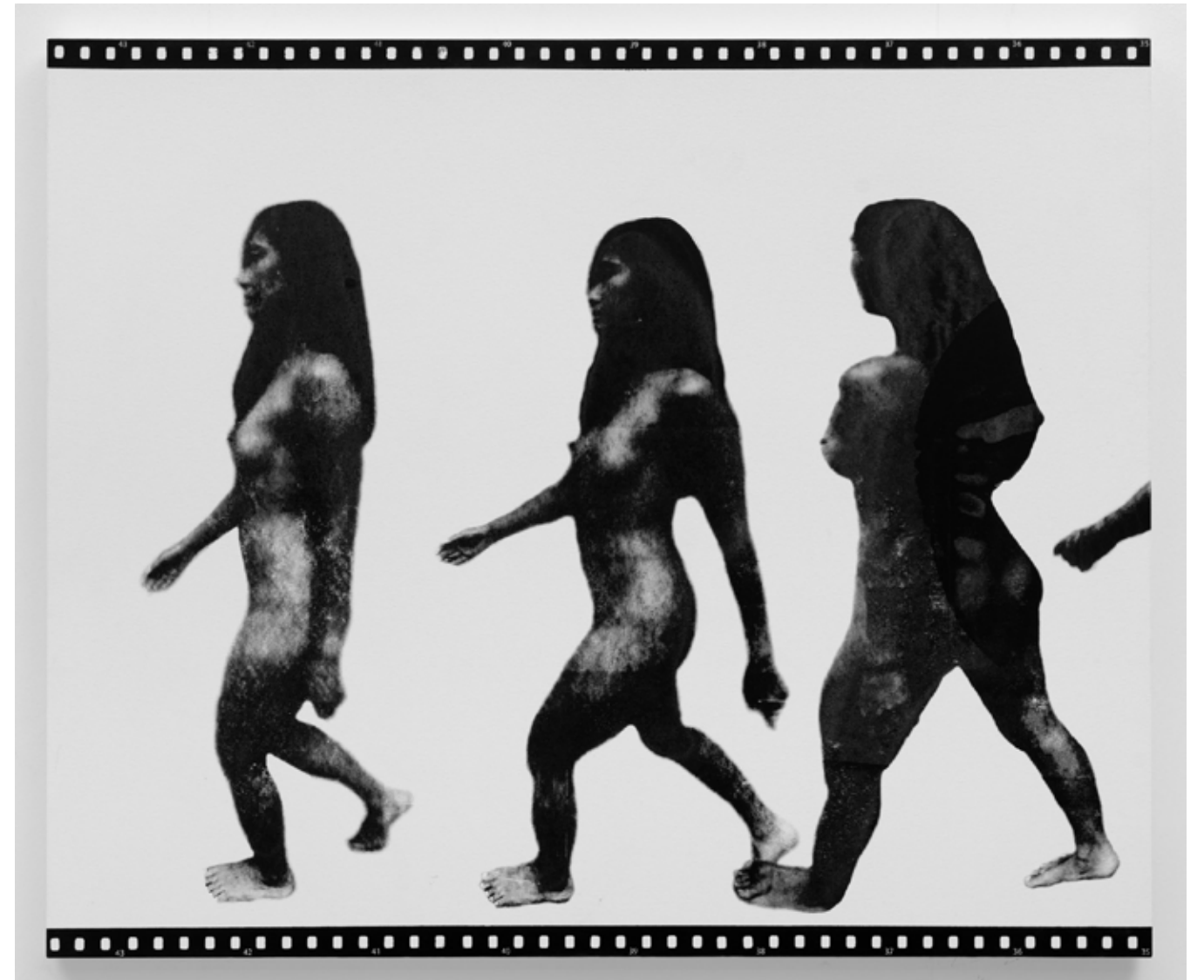
2023, Acrylic on Canvas, each panel 60" x 72", total size 60" x 360"

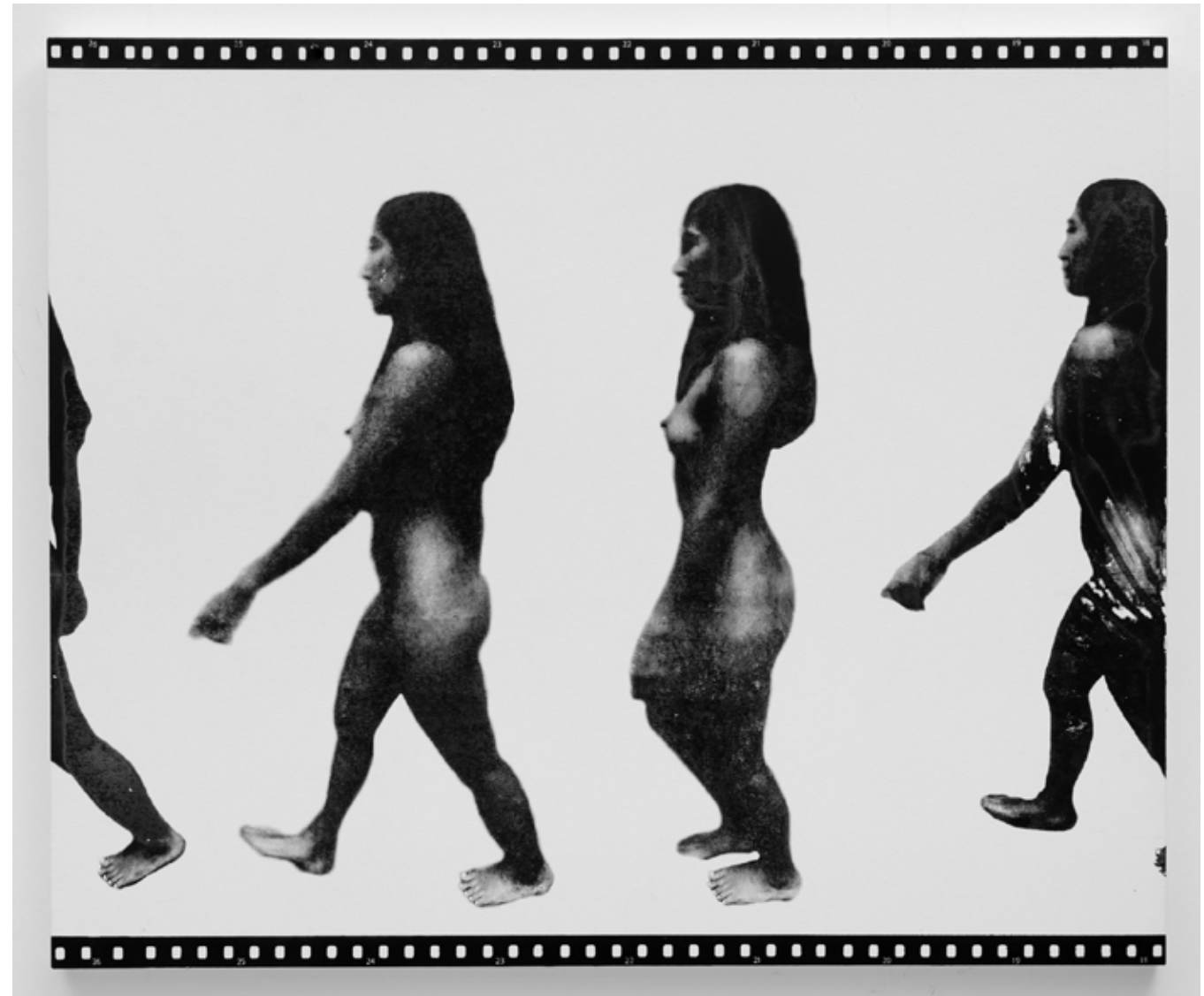
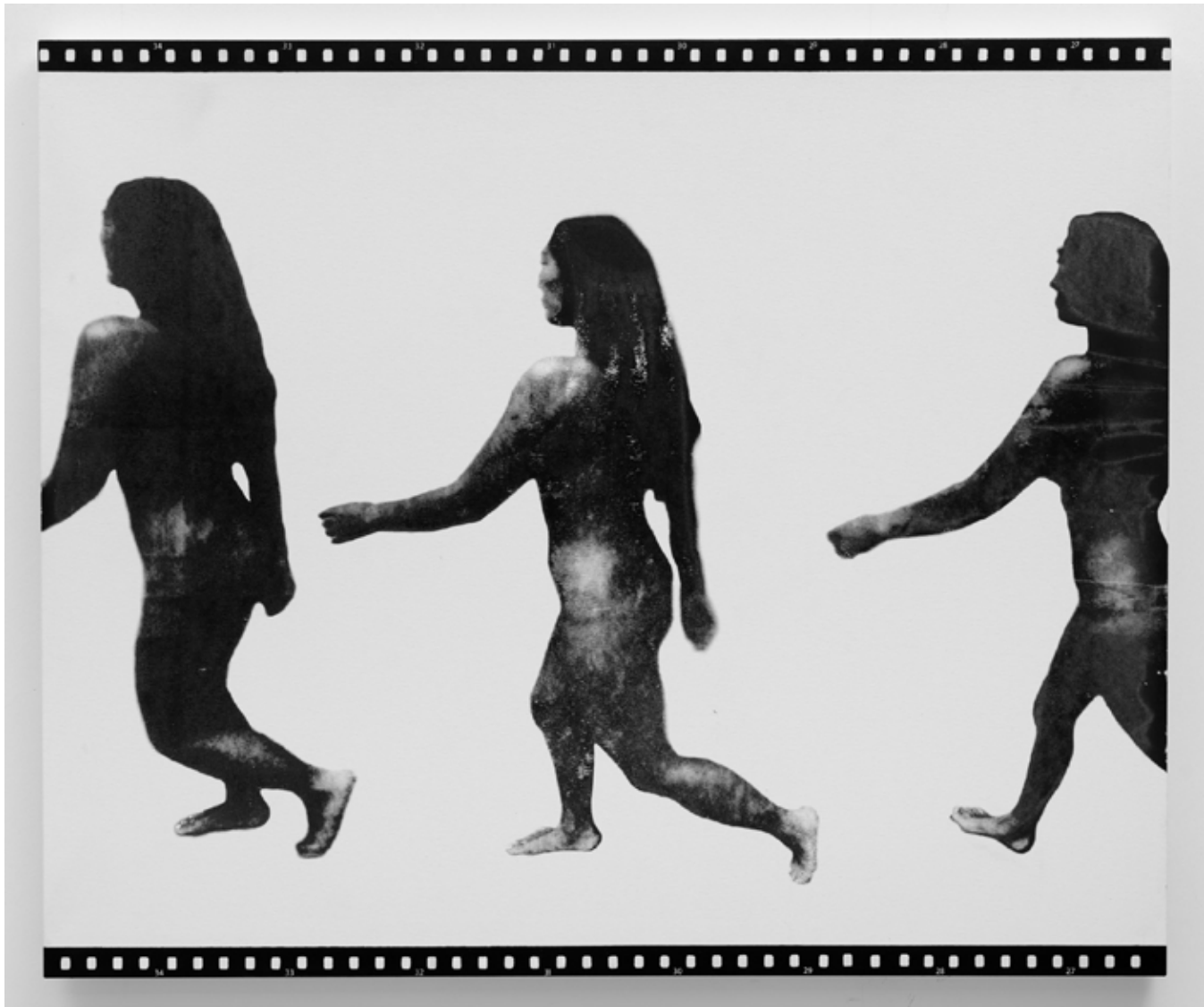
スター・ウォーキン (6-10、複合)

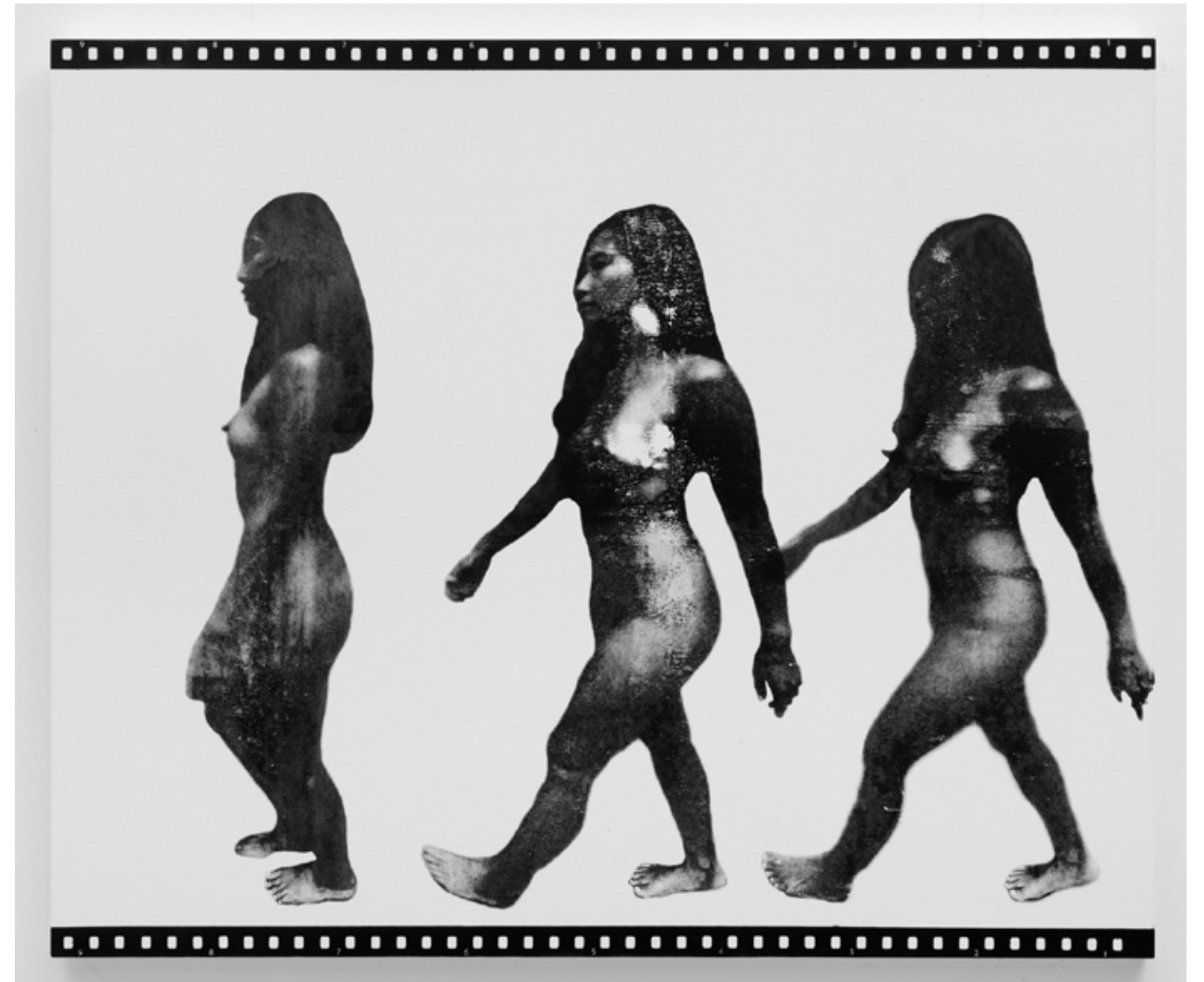
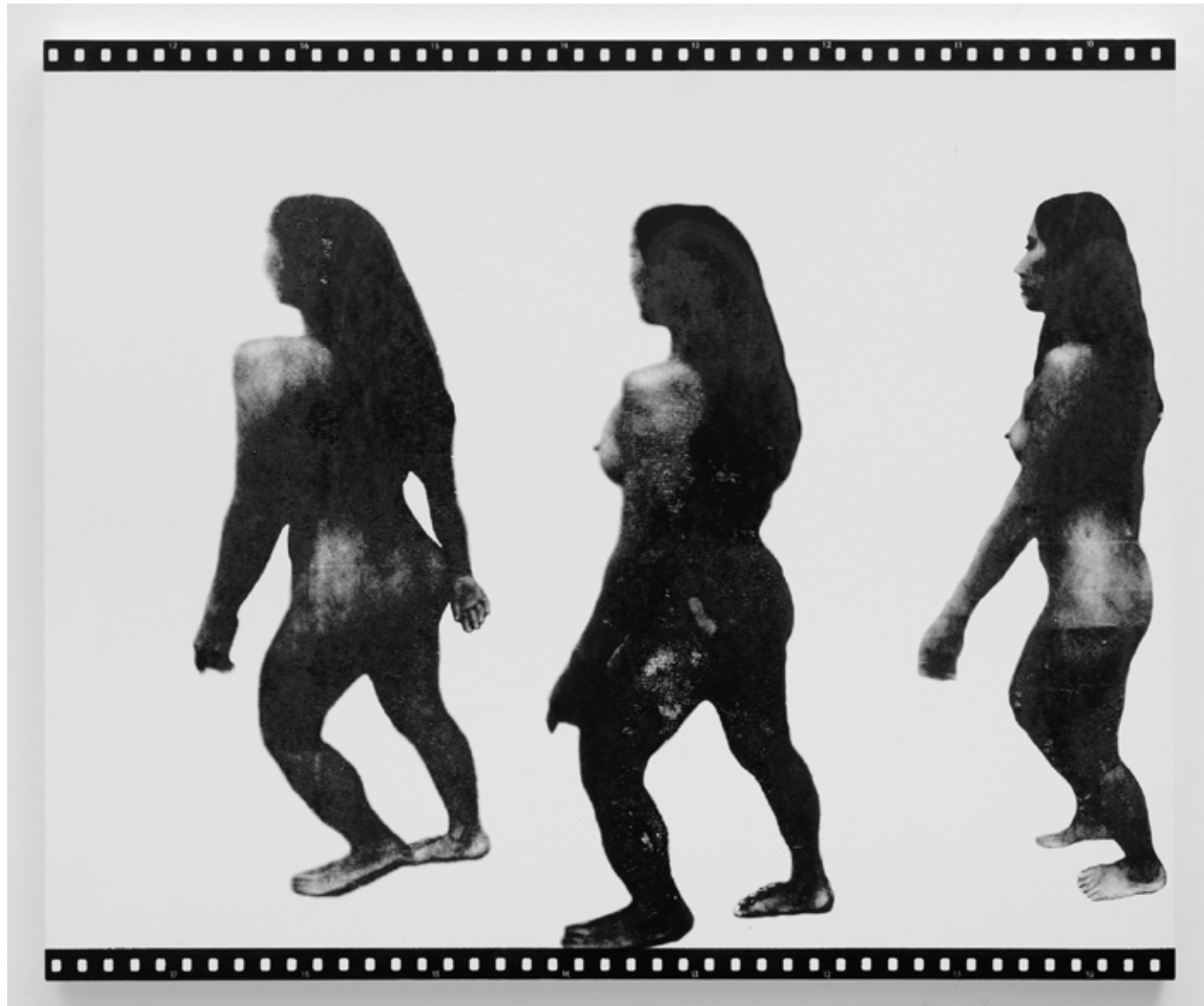
2023年、キャンバスにアクリル、各パネル60インチ×72インチ、合計サイズ60インチ×360インチ。













ERIC SANDERS

Annamotion

June 2023

Tokyo Metropolitan Art Museum

8-36 Uenokoen, Taito City, Tokyo 110-0007, Japan

Curated by Julienne Johnson

Produced by Johnson Edwards Productions

November 8–December 2, 2023

TAG Gallery

5458 Wilshire Blvd, Los Angeles, CA 90036

<https://www.taggallery.net/>

2023年6月

東京都美術館

〒110-0007 東京都台東区上野公園8-36

ジュリエン・ジョンソンによるキュレーション
ジョンソン エドワーズ プロダクションズ制作

2023年11月8日～12月2日

タグ・ギャラリー

5458 Wilshire Blvd, Los Angeles, CA 90036

<https://www.taggallery.net/>